

〈4班・分科会のまとめ〉

- ① コーディネーター名
小野葉子
- ② 参加者数（コーディネーター含む）
9名（宮城3名・山形4名・福島2名）
・参加者は会社役員・会社員・公務員・ボランティアをなさっている方々
- ③ テーマ（グループ名）
「試練の受けとめ方・問題解決の方法」
- ④ ディスカッション内容

参加者の方々の中には、今ご自分の抱えている問題を解決したいと参加した方、また「問題解決セミナー」などを開催していて、問題を抱えて悩んでいる方の何かお役に立てるのではないかと参加した方、震災で家族を失い、大きな試練を受けたからこそ、試練に悩む方々の手助けをしたいとボランティアをしている方、又ご自分の様々な経験を通して得た智慧を、今悩んでいる方の参考になればとお話しくださった方など、一巡り自己紹介をした後、9名の方々が2つのテーマについて、自由に語り合いました。

〈試練の受けとめかた〉

このテーマでは、神は耐えられない試練は与えない、試練は神様からのギフトという意見があり、試練から逃げようとしなくて、しっかり受けとめて前向きに生きてきたからこそ、今の自分があるというような流れになりました。

〈問題解決の方法〉

このテーマでは、問題が起こるには起こる理由があると、問題を分析し、整理することによって、本当の原因が見えてくるようになる。そして、人のせいにしないで、自分にも原因があることを見て、自分を変えてゆくと、楽になるし、問題が解決してゆくと話になってゆきました。

また、仕事と、子育てに悩んでいる方には、行政サービスをすべて使うこと、アンテナを高く、私の応援団や、ママ友をつくり、お互い支えあったなら、両立してゆけると具体的なアドバイスも出ました。そのような相互扶助の中で、1人で生きてきたのではなく、みんな（他人）に支えてもらったことに気づくと、感謝の思いが生まれ、人間関係も楽になり、人生が豊かになるという話になりました。

全体を通しての感想は、誰かが問題や悩みをお話しすると、誰かがその答えとなるような話をして下さるといような話し合いが繰り返し広げられました。

そして、3. 11の震災という試練を体験したからこそ、人のお役に立ちたいとボランティアをなさっている方に象徴されるように、志の高い高貴なお心をお持ちの方が多く、心が温かくなるような濃密な出会いの場となったように思います。皆様、有り難うございました。